

① 史料を基礎とした日本史（前近代史）

講師	宇佐見 隆之（うさみ たかゆき）	講座等	社会科教育講座（日本史学／日本中世史）
対象	児童・生徒（小6以上） 教員（小・中・高）		
<p>歴史の記述は、すべて史料に基づいて行われています。このため、記述の背景にある史料の理解なしに理解できません。史料と教科書の記述を照らし合わせながら日本前近代史への理解を深めましょう。</p>			

② 古代ローマ史にみる曖昧な「史実」

講師	大清水 裕（おおしみず ゆたか）	講座等	社会科教育講座（西洋史/古代ローマ史）
対象	児童生徒（中・高） 教員（中・高） 市民一般		
<p>歴史学は、様々な史資料を用いて過去の社会を再構成しようとする学問です。しかし、そこで用いる史資料が互いに矛盾していたり、あるいは荒唐無稽だったりすることは少なくありません。本講義では、古代ローマ史の中から有名な事件を取り上げ、人口に膾炙している「史実」の曖昧さと、「史実」を確定しようとする歴史学の営みをご紹介します。</p>			

③ 思考力・判断力を育成する社会科授業づくりとは？

講師	川口 広美（かわぐち ひろみ）	講座等	社会科教育講座(社会科教育)
対象	教員（小・中・高）		
<p>変容の激しい社会においては、現在の社会的事象や問題を知るだけでなく、その背景を探り、未来に向けての問題解決の方法を探る力（＝思考力・判断力）を育成することが重要です。そのためには、どのような内容や教材を選び、どのように授業で提示すれば良いのでしょうか。多様な授業理論を基にしてワークショップ形式で考えます。</p>			

④ 地理から考える物語の舞台

講師	安藤 哲郎（あんどう てつろう）	講座等	社会科教育講座(地理学)
対象	児童・生徒（幼・小・中・高・特） 教員（幼・小・中・高・特） 保護者 市民一般		
<p>説話などの古典を読むと、いくつか地名が出てきます。こういった地名と物語の内容を手がかりとして地図を作りながら考えると、物語が作られた時代の人々が物語の舞台となった場所についてどのような認識を持っていたのか分かることがあります。地図やパネルを使いながら、地理から物語の舞台について一緒に考えてみましょう。</p>			

⑤ 社会科の学力とパフォーマンス評価

講師	岸本 実 (きしもと みのる)	講座等	社会科教育講座 (社会科教育)
対象	教員 (小・中・高)		
<p>社会科の思考・判断・表現の学力を身につけさせるために、パフォーマンス評価の指導と実践が求められています。授業の中の15~20分の中心活動、1時間そして1単元の授業など、生徒の思考・判断・表現のパフォーマンスをどのように指導し、評価すればよいのか、ワークショップ形式で考察します。</p>			

⑥ 論理学初歩

講師	齋藤 浩文 (さいとう ひろふみ)	講座等	社会科教育講座 (哲学)
対象	児童・生徒 (幼・小・中・高・特)	教員 (幼・小・中・高・特)	保護者 市民一般
<p>論理学への入門として、以下の2つのいずれか、または、両方について講義します。</p> <p>(1) 形式論理学の初歩について紹介しながら、論理とは何か、そして、論理的であるとはどういうことかを考えます。</p> <p>(2) 非形式論理学を背景として成立したクリティカル・リーズニングについて、その基本の紹介と実践を目指した演習を行います。</p>			

⑦ 滋賀の近代史

講師	馬場 義弘 (ばんば よしひろ)	講座等	社会科教育講座 (政治学/歴史学)
対象	市民一般		
<p>明治前期に滋賀県の県令 (のちの県知事) を務めた松田道之 (初代、明治4年11月~明治8年3月)、籠手田安定 (二代、明治8年5月~明治17年7月) を中心に、近代国家の形成と滋賀県政について考えます。</p>			

⑧ 景観写真の観賞と教材化

講師	松田 隆典 (まつだ たかのり)	講座等	社会科教育講座 (人文地理学)
対象	児童・生徒 (小・中・高)	教員 (小・中・高)	保護者 市民一般
<p>WEB上に多く掲載されている景観写真の観賞の仕方について、実例をもとにわかりやすく説明するとともに、社会科や地歴科・公民科のための教材化の可能性について示します。具体的テーマとしては、視覚的にわかりにくい気候を植生写真で説明したり、国際理解のために必要な社会的コンテキストを都市景観写真などで紹介します。</p>			

㊦ 身近な事件をもとに、法、裁判の役割を考える

講師	渡辺 暁彦（わたなべ あきひこ）	講座等	社会科教育講座（法律学/日本国憲法）
対象	生徒（小・中・高・特） 教員（幼・小・中・高・特） 保護者 市民一般		
<p>市民も「裁判員」として裁判に関わる時代となりました。憲法改正をめぐる議論も盛んです。法や憲法、そして裁判に対する関心も高まりつつあるようです。本講義では、最近の身近な事件や話題を取り上げ、実際の判決文なども活用しながら、日本国憲法や裁判についての理解を深めていきたいと考えています。</p>			